

Perforce を設定して SimDiff を使用するには

目次

初めに	2
Perforce を設定して SimDiff を使用するには	2
SimDiff を比較ツールとして設定する.....	2
SimDiff をマージツールとして設定する	3

初めに

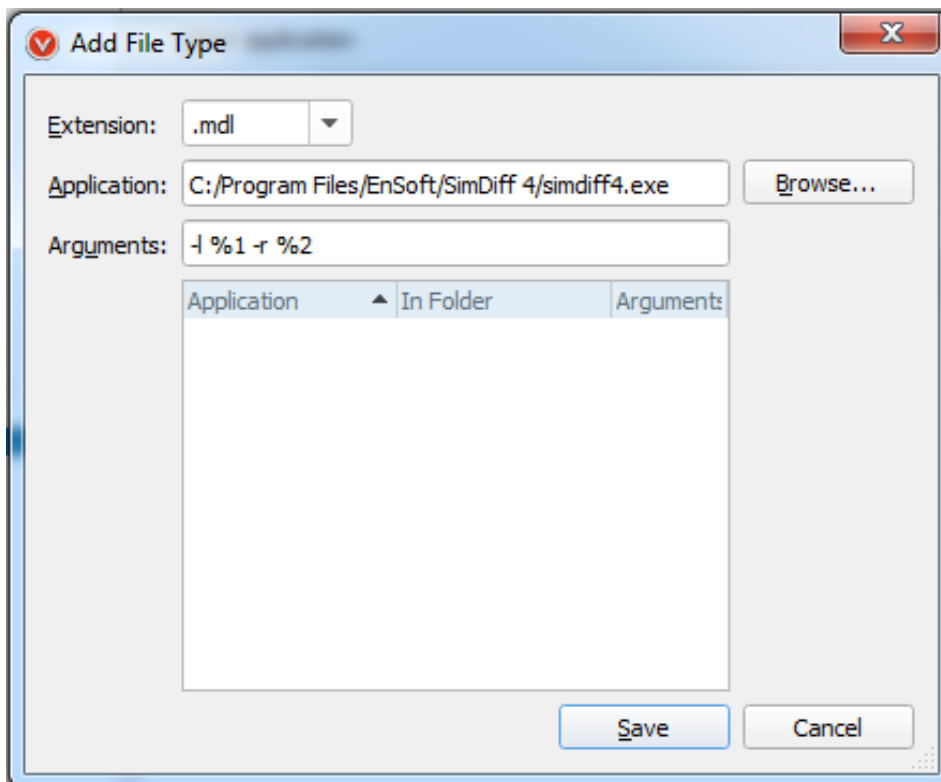
Perforce は、バージョンの比較、またはマージのコンフリクトを解消する際に稼働する、比較/マージ用の外部ツールとして設定することが可能です。単一の外部ツールを全ファイルに適用する (SimDiff では推奨していませんのでご注意ください)、あるいはファイルの拡張子を基に、特定のファイルに対してのみ適用されるよう設定することも可能です。

Perforce を設定して SimDiff を使用するには

Perforce P4V クライアントを使用して SimDiff を設定する手順は、以下の通りです。使用するコマンドの詳細については、以下のセクションを参照して下さい。

SimDiff を比較ツールとして設定する

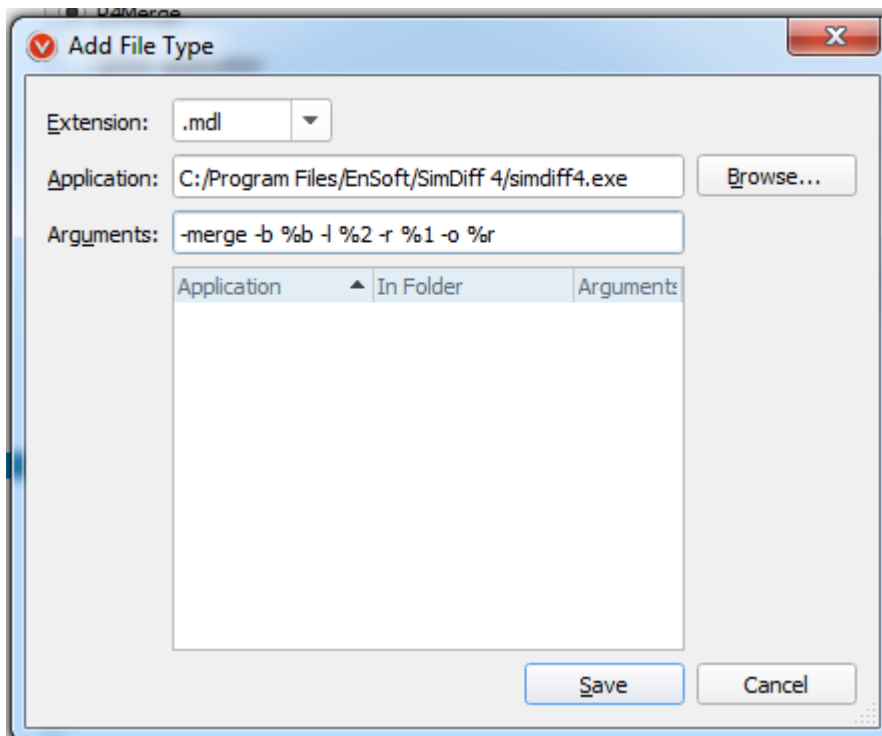
1. “Edit” メニューから “Preferences” を選択して、P4V Preferences ダイアログを開きます。
2. ツリー表示で Diff を選択します。
3. “Specify diff application by extension (overrides default):” セクションにて、“Add” をクリックします。
4. 以下の図に従って、“.mdl” ファイルタイプの詳細情報を入力します。
 - a. Extension: .mdl
 - b. Application: simdiff4.exe へのパス
 - c. Arguments: -l %1 -r %2



5. “Save” ボタンをクリックします。
6. 上記のステップ 3 から 5 を繰り返して、拡張子 “.slx” を設定します。

SimDiff をマージツールとして設定する

1. “Edit” メニューから “Preferences” を選択して、P4V Preferences ダイアログを開きます。
2. ツリー表示で Merge を選択します。
3. “Specify merge application by extension (overrides default):” セクションにて、“Add” をクリックします。
4. 下の図に従って、“.mdl” ファイルタイプの詳細情報を入力します。
 - a. Extension: .mdl
 - b. Application: simdiff4.exe へのパス
 - c. Arguments: -merge -b %b -l %2 -r %1 -o %r



5. “Save” ボタンをクリックします。
6. 上記のステップ 3 から 5 を繰り返して、拡張子 “.slx” を設定します。

注意: このセクションでは、SimDiff がデフォルトのインストールフォルダに保存されていることを前提としています。デフォルトのフォルダ以外の場所にインストールされた場合には、適切なデータを入力してください。